

- 製品の仕様、付属品およびデザインは予告なく変更する場合があります。記載内容は2017年12月現在のものです。

スピーカーシステム WS-LA500

■概要

本機は、複数台連結して使用するアレイスピーカーです。広帯域の再生能力、原音に忠実な再生を特徴にしており、大ホール、劇場など大空間の遠距離拡声に適しています。

■仕様

形式	2ウェイバスレフ形
入力インピーダンス	ロー : 8 Ω ハイ : 8 Ω
許容入力 (RMS ^{※1} / 連続プログラム)	ロー : 160 W / 320 W ハイ : 80 W / 160 W
出力音圧レベル	ロー : 96 dB (1 W/m、Typical、自由空間) ハイ : 112 dB (1 W/m、Typical、自由空間)
クロスオーバー周波数	1 kHz
周波数特性	ロー : 70 Hz ~ 1.1 kHz (−10 dB、Typical、自由空間) ハイ : 1 kHz ~ 19.5 kHz (−10 dB、Typical、自由空間)
入力端子	コネクター×2 推奨プラグ: NL4FX (ノイトリック株式会社)
使用スピーカー	ロー用 : 20 cmコーンスピーカー×2 ハイ用 : ドライバー×2 指向角度 : 水平 90°、垂直 10° ^{※2}
外形寸法	幅794 mm 高さ258 mm 奥行き337 mm
質量	約25 kg
仕上げ	エンクロージャー : 木製(合板)、黒色半艶塗装(マンセルN1近似色) リギング金具 : 金属製(SUS304)、黒色半艶塗装(マンセルN1近似色) パンチングネット : 金属製(SPCC)、黒色半艶塗装(マンセルN1近似色)
角度可変範囲	垂直下向き 0° ~ 15° (1°単位で設定可能)
防水性能	—
使用温度範囲	−10 °C ~ +50 °C
設置	グラウンドスタック : 最大、WS-LA500×6台+WS-LA550×2台 フライング : 最大20台(内サブウーハーは4台まで)

※1 JIS C5532 : 2014 に規定された定格ノイズ電力

※2 垂直指向角度はシステムフィグレーションに依存

■付属品

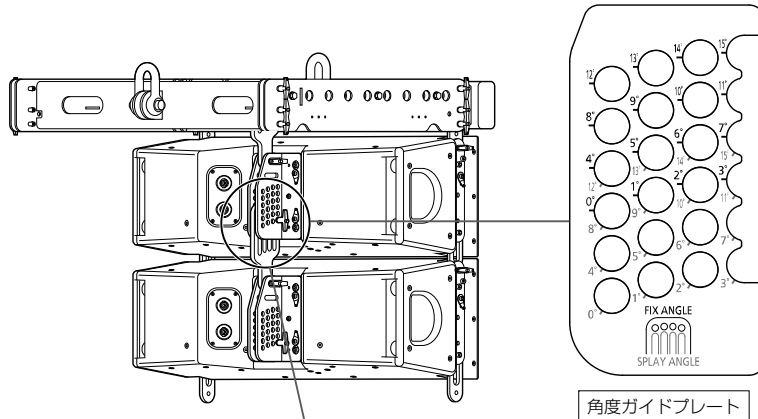
取扱説明書…………… 1冊 保証書…………… 1式

■スピーカーコネクターのピンアサイン

コネクタピン番号	接続先
1+	ロー+
1-	ロー-
2+	ハイ+
2-	ハイ-

■スピーカー本体角度調整

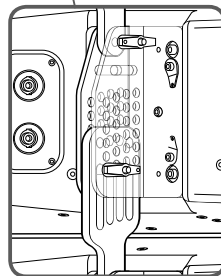
スピーカー本体とスピーカー本体の角度は、リアーヒンジの取り付けかたで決まります。
調整範囲：0°～+15°



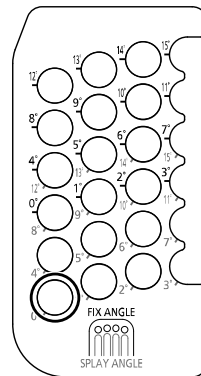
角度ガイドプレート

つり下げ時には角度ガイドの緑文字（SPLAY ANGLE）の角度を使用してください。
※黒文字（FIX ANGLE）の角度はグラウンドスタック時に使用

0°に設定する場合

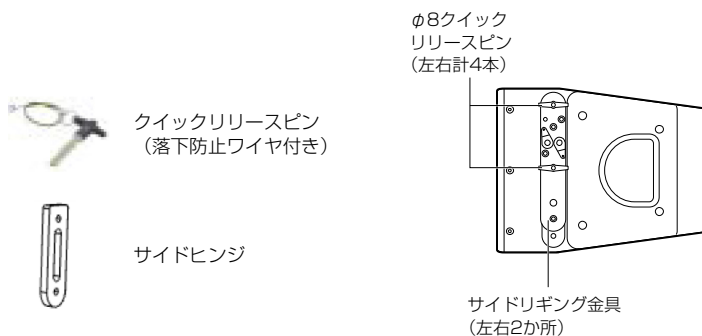


リアーヒンジとリアーリギング金具の0°の穴をそろえてクイックリリースピンを差し込む。



■備考

- クイックリリースピン（サイド用、φ8 mm） 4本（本体に取付済）
- クイックリリースピン（リア用、φ10 mm） 2本（本体に取付済）
- サイドヒンジ（サイド用） 2個（本体に取付済）
- リアーヒンジ（リア用） 1個（本体に取付済）

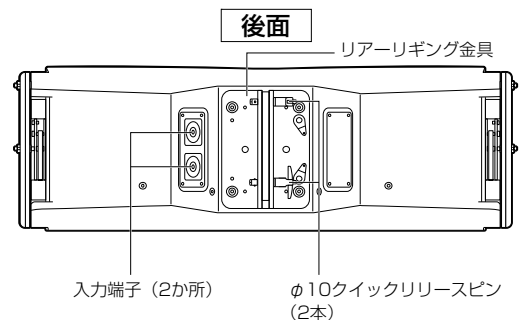


クイックリリースピン
（落下防止ワイヤ付き）

サイドヒンジ

φ8クイック
リリースピン
（左右計4本）

サイドリギング金具
（左右2か所）



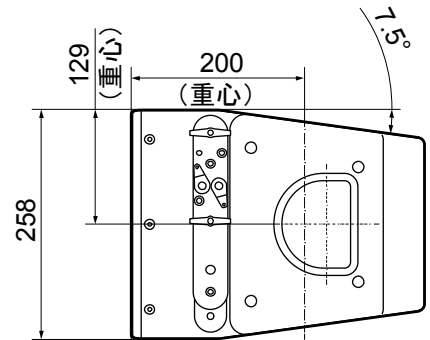
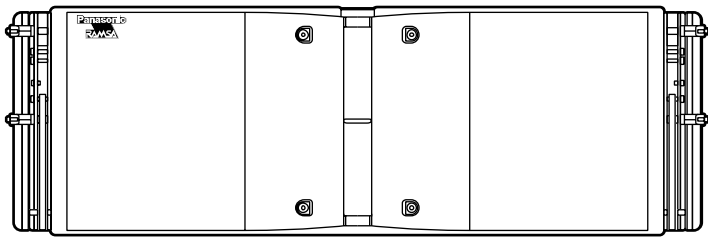
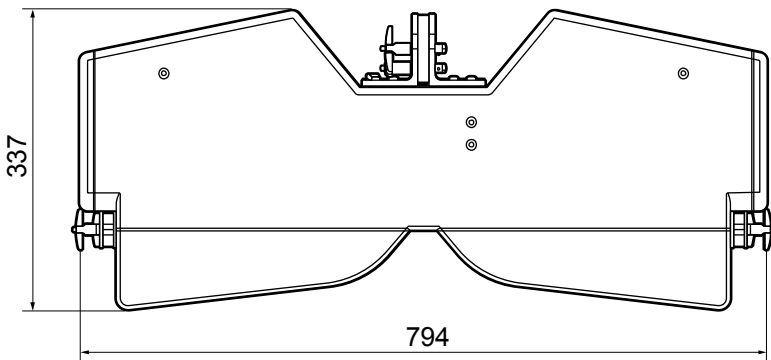
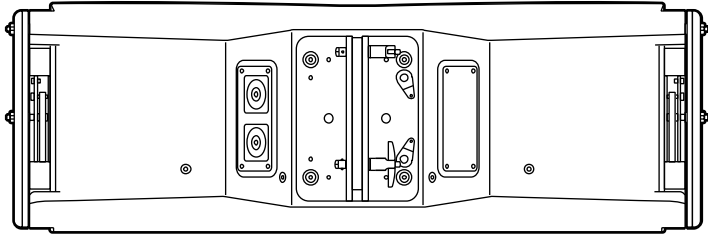
後面

リアーリギング金具

入力端子（2か所）

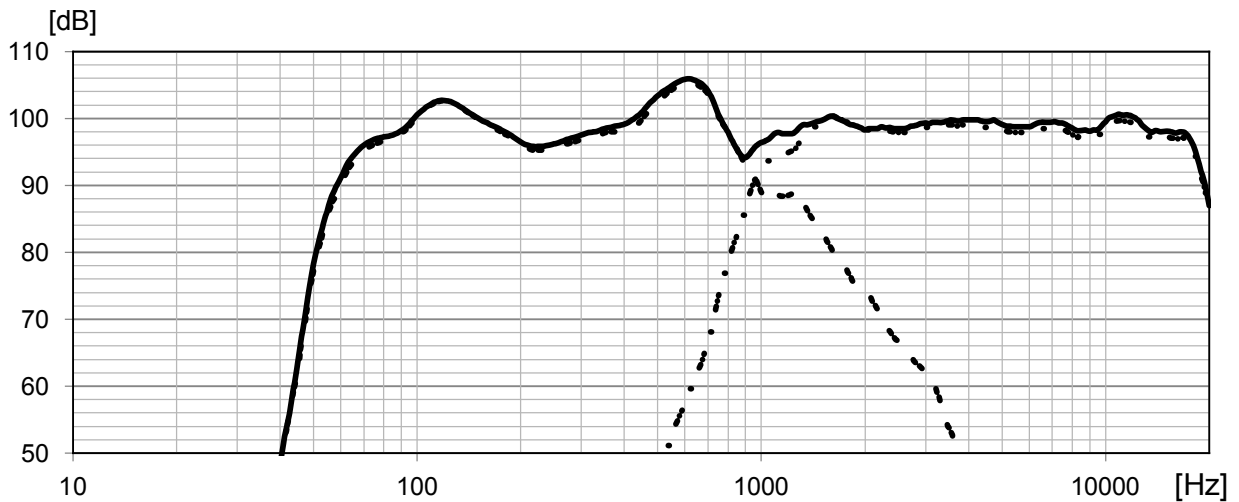
φ10クイックリリースピン
（2本）

■外觀寸法図 (単位 : mm)

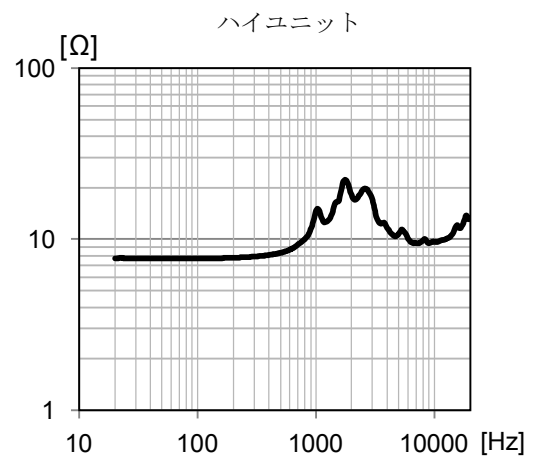
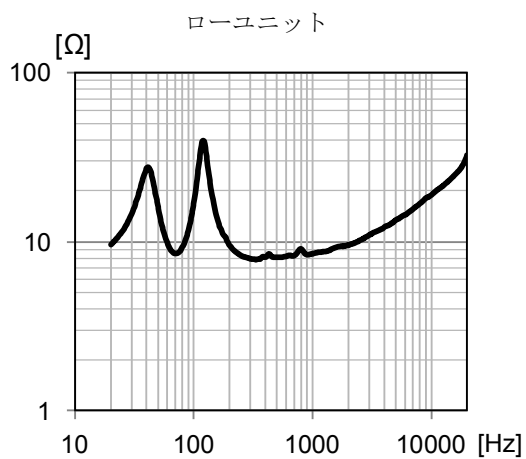


■ 伝送周波数特性

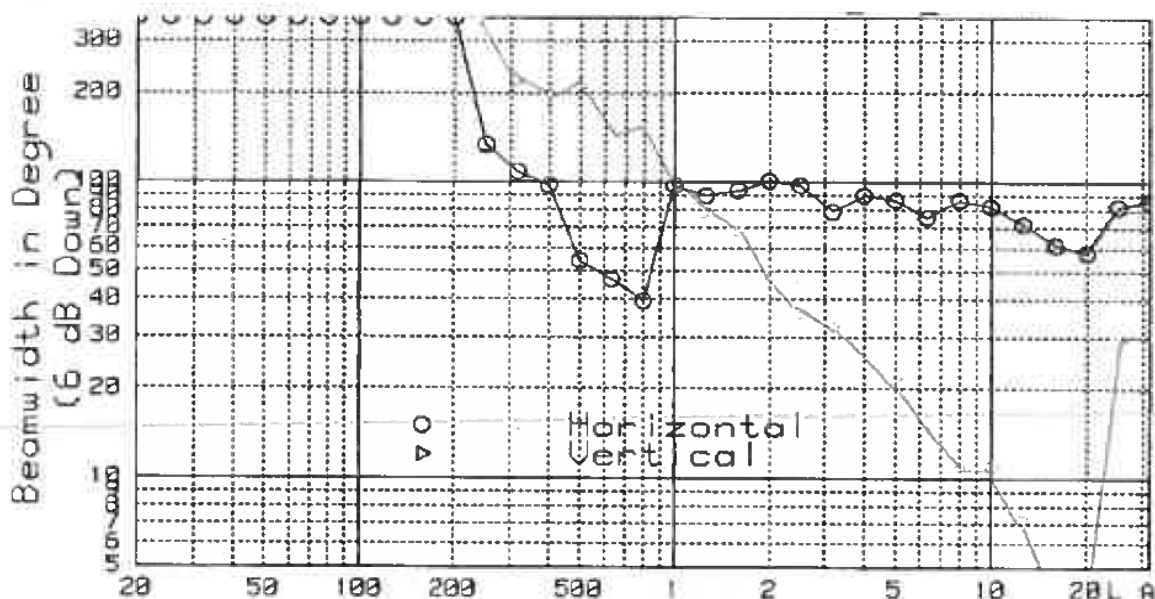
※推奨クロスオーバー周波数、パラメトリックイコライザ設定時の伝送周波数特性（単体特性）
各ユニットの DSP へ、ロー：1 W、ハイ：1 W 相当を入力



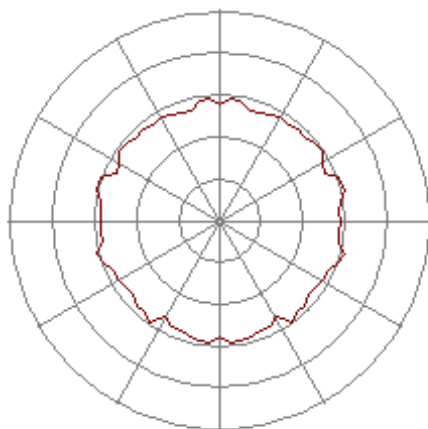
■ 各ユニットのインピーダンス特性



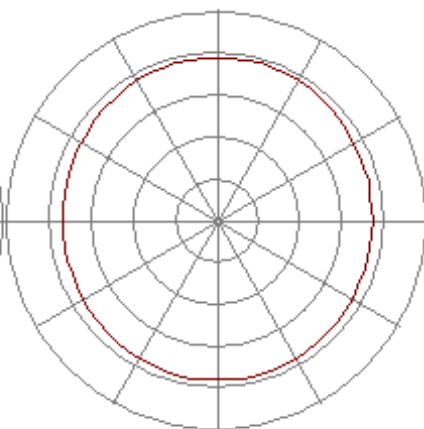
■ 指向角度特性



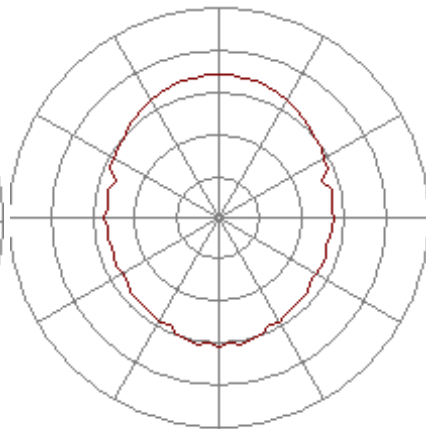
■ポラーパターン (水平指向特性)



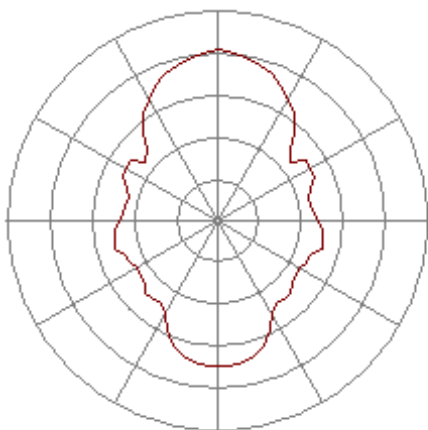
63 Hz



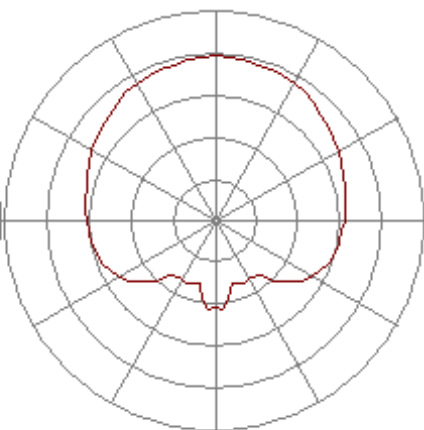
125 Hz



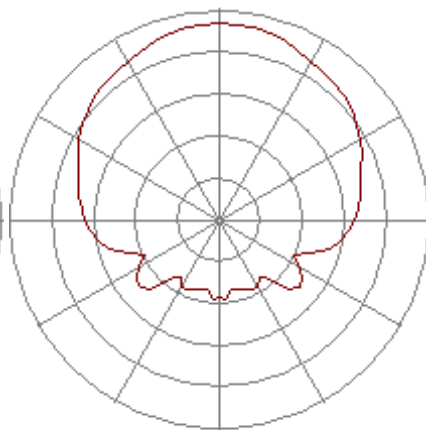
250 Hz



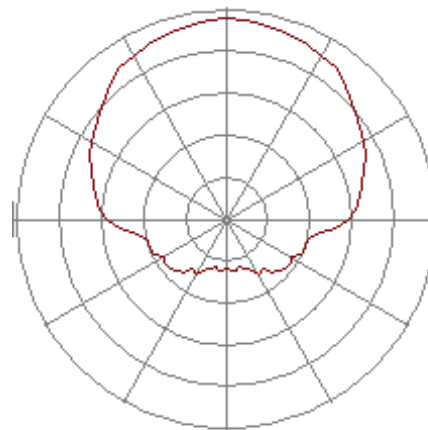
500 Hz



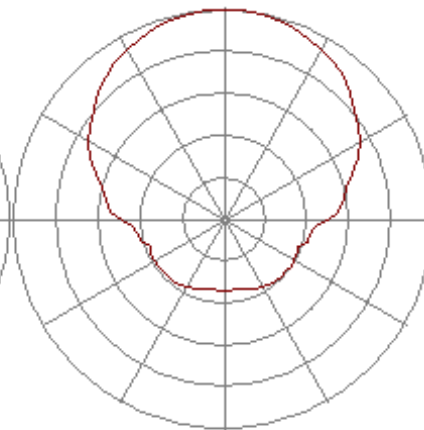
1 kHz



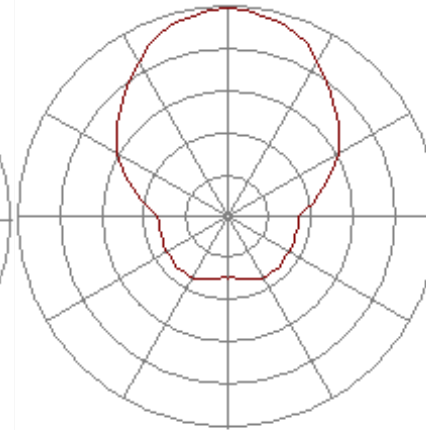
2 kHz



4 kHz

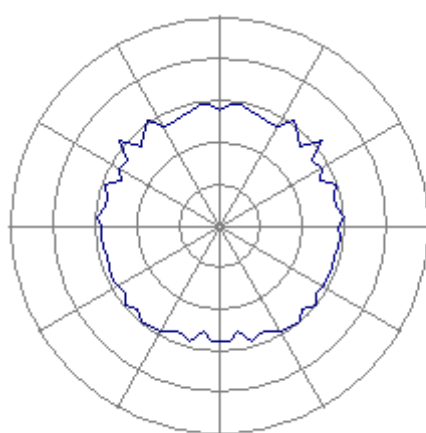


8 kHz

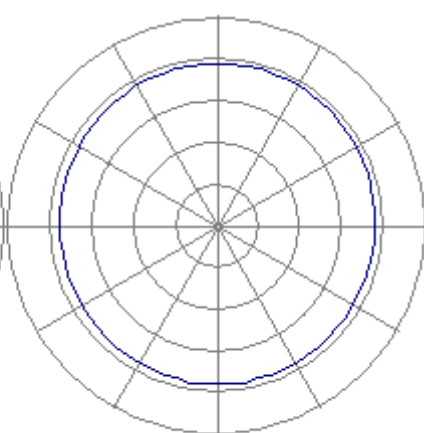


16 kHz

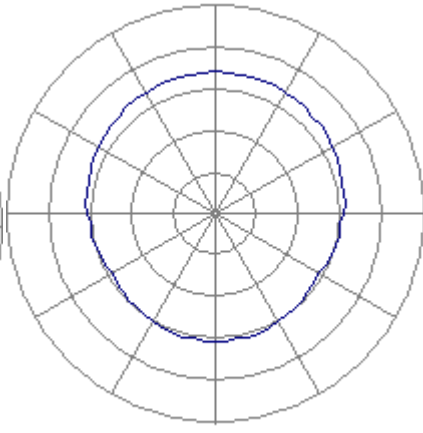
■ポーターパターン (垂直指向特性)



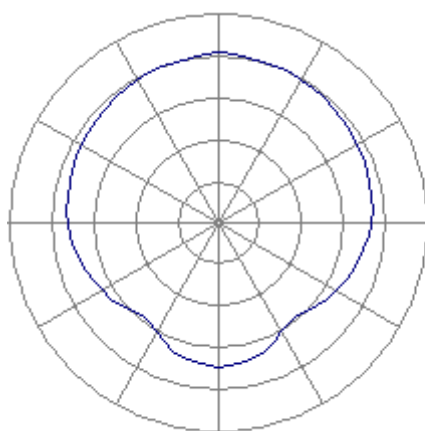
63 Hz



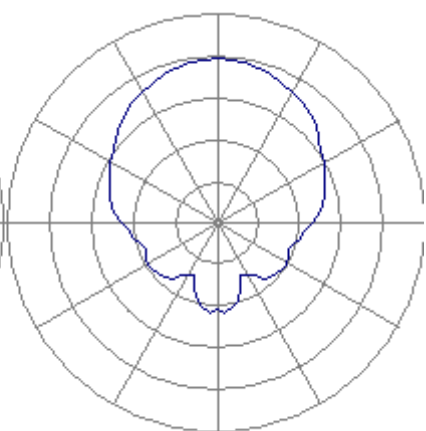
125 Hz



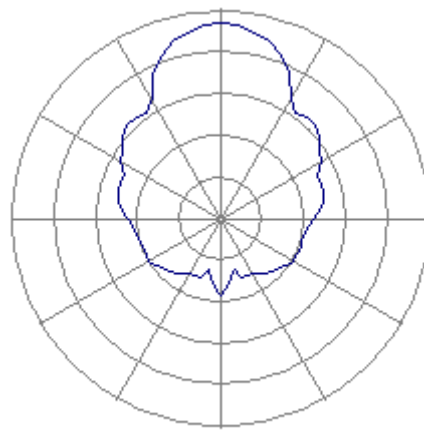
250 Hz



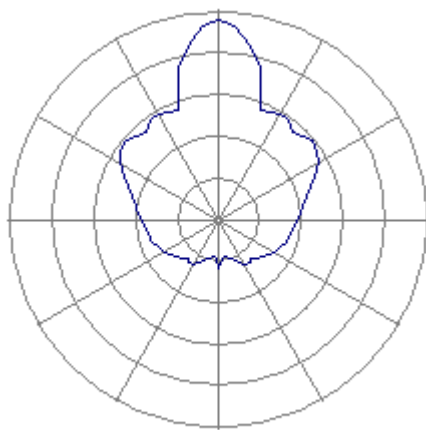
500 Hz



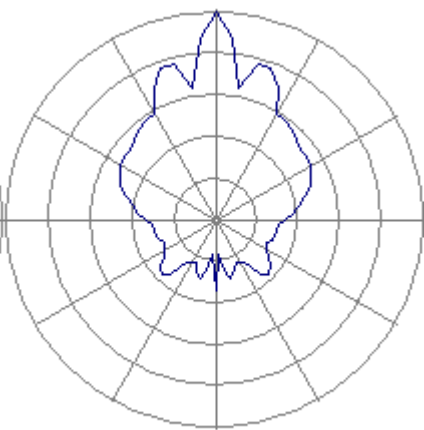
1 kHz



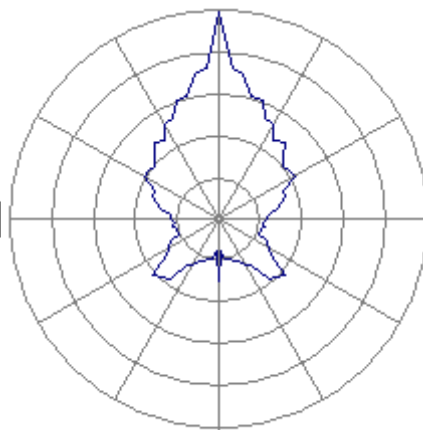
2 kHz



4 kHz



8 kHz



16 kHz

■推奨クロスオーバー周波数、推奨パラメトリックイコライザー

○推奨クロスオーバー（Xover）周波数

	ロー (WS-LA550を使用しない場合)		ロー (WS-LA550を使用する場合)		ハイ	
	低域側	高域側	低域側	高域側	低域側	高域側
Xover周波数	60Hz	1000Hz	90Hz	1000Hz	1kHz	—
フィルタタイプ	Linkwitz-Riley	Linkwitz-Riley	Linkwitz-Riley	Linkwitz-Riley	Linkwitz-Riley	—
スロープ	12dB	24dB	24dB		24dB	—
ディレイ	2.5msec(設置状態で変更必要)		0.0msec		0.083msec	
位相	Normal		Normal		Normal	
ゲイン	10 dB		10 dB		-12 dB	

○推奨パラメトリックイコライザー（PEQ）

ローユニット

	周波数	ゲイン	Q
PEQ1	90 Hz	2.0 dB	2.0
PEQ2	330 Hz	-8.0 dB	0.8
PEQ3	800 Hz	2.0 dB	6.0
PEQ4	800 Hz	2.0 dB	2.0
PEQ5	820 Hz	-3.0 dB	8.0
PEQ6	900 Hz	-8.0 dB	3.0
PEQ7	1200 Hz	9.0 dB	8.0
PEQ8	1550 Hz	-6.0 dB	4.0
PEQ9	4000 Hz	-10.0 dB	2.5

ハイユニット

	周波数	ゲイン	Q
PEQ1	1000 Hz	3.0 dB	2.0
PEQ2	1500 Hz	3.0 dB	5.0
PEQ3	4500 Hz	-4.5 dB	0.4
PEQ4	5000 Hz	-3.0 dB	5.0
PEQ5	10000 Hz	4.0 dB	0.5

※上記のPEQは、単体時でのスピーカー基本イコライザーです。ラインアレイシステムとして、複数台のスピーカーを使用する場合は、キャビネット数や角度に応じて、上記に対して別途適切なシステムイコライザーを与える必要があります。詳細は、販売会社へお問い合わせください。